

科目番号：コア-101

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
I Tの職業と情報倫理		10			10
科目概要	<p>これからITを学習するにあたって必要となる基礎知識とリテラシーについて、様々な具体例を通して学習する。</p> <p>なお、本科目はIT企業でネットワークとセキュリティについて研究した実務経験を持つ講師が、幅広い知識と研究成果を活かして授業を行う。</p>				
学習到達目標	<p>取得すべき資格や将来について考えるとともに、ネット上の脅威から身を守り安心してサービスを利用する知識を身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	ITと応用分野	16		
	2	ITの職業と資格	17		
	3	学生を狙う悪質商法	18		
	4	個人情報とパスワード	19		
	5	不当請求と迷惑メール	20		
	6	メールや掲示板のマナーと法律	21		
	7	著作権、していいことと悪いこと	22		
	8	逮捕されるネットユーザたち	23		
	9	コンピュータウイルスと対策	24		
	10	科目試験	25		
	11		26		
	12		27		
	13		28		
	14		29		
	15		30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ITの職業と情報倫理	SCC		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	・科目試験		<p>&lt;評価基準&gt; 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可</p>		

科目番号：コア-103

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
ハードウェア		15			15
科目概要	コンピュータのハードウェアとしての構成要素や動作原理について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。				
学習到達目標	ハードウェアから見たコンピュータの構成要素や動作原理を理解して、システムのハードウェア構成を決定するための基礎知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	コンピュータの構成	16		
	2	プロセッサ	17		
	3	プロセッサの性能とメモリの基本	18		
	4	メモリシステム	19		
	5	入出力デバイス	20		
	6	入出力装置の種類	21		
	7	ビデオメモリと補助記憶装置	22		
	8	補助記憶装置の容量と読み取り速度	23		
	9	システム構成	24		
	10	分散システム構成	25		
	11	信頼性設計と性能評価	26		
	12	信頼性特性と評価	27		
	13	電子回路	28		
	14	組み込みシステム	29		
	15	科目試験	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ITワールド	インフォテック・サーブ		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	ITパスポート試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：コア-113

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
システムとソフトウェア		15			15
科目概要	コンピュータのソフトウェアとしての構成要素やインタフェース設計について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。				
学習到達目標	ソフトウェアから見たコンピュータの構成要素やインタフェース設計を理解して、最適なソフトウェア構成を決定するための基礎知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	情報処理システムの処理形態	16		
	2	高信頼化システムの構成	17		
	3	情報処理システムの評価	18		
	4	ヒューマンインタフェース	19		
	5	マルチメディア	20		
	6	ソフトウェアの分類	21		
	7	オープンソースソフトウェア	22		
	8	OSの機能と構成	23		
	9	OSの管理機能	24		
	10	プログラム言語	25		
	11	言語プロセッサ	26		
	12	プログラムの属性	27		
	13	ファイル	28		
	14	バックアップ	29		
	15	科目試験	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ITワールド	株式会社インフォテック・サーブ		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	ITパスポート試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：コア-114

科目名		時間数(90分)			
データとアルゴリズム		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	データベースの「概念」「データベース管理システム(DBMS)」「正規化」「SQL」について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。 フローチャートを用いて代表的なアルゴリズムについて、講義と演習問題を通して表現できる知識を習得する。				
学習到達目標	データベースシステムの動作原理や利活用と基本的な設計を理解して、データベースを使った最適なシステムを構築するための基礎知識を身に付ける。 アルゴリズムを設計・表現する方法を習得するとともに、それをプログラム言語に置き換えることができる能力を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	データベースの概念	16		
	2	データベースの設計	17		
	3	SQL (データ定義)	18		
	4	SQL (データ操作)	19		
	5		20		
	6		21		
	7	いろいろなデータベース	22		
	8	データ構造	23		
	9		24		
	10	フローチャート	25		
	11	データ探索処理	26		
	12	データ整列処理	27		
	13	その他のアルゴリズム	28		
	14	まとめ	29		
	15	科目試験	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ITワールド	インフォテック・サーブ		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	ITパスポート試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)				
システム開発と情報戦略		講義	演習	実習	合計	
		15			15	
科目概要	<p>システム要件定義からソフトウェア詳細設計工程について、講義と練習問題を通して様々なシステムの開発方法を習得する。</p> <p>なお、本科目は、IT企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。</p>					
学習到達目標	システム開発の流れと各工程の役割に必要な手法や手順を理解することで、最適なシステムを構築するための基礎知識を身に付ける。					
講義計画	回	内容			回	内容
	1	情報システム戦略のプロセス				
	2	業務プロセスとソリューションビジネス				
	3	企画プロセス/プロジェクト計画の管理				
	4	要件定義プロセス/要件定義の管理				
	5	調達の管理				
	6	システム開発プロセス				
	7	ソフトウェア実装プロセス				
	8	保守・廃棄プロセス				
	9	ソフトウェア開発手法				
	10	ソフトウェア設計手法				
	11	開発プロセス				
	12	システム開発環境				
	13	Webアプリケーション開発				
	14	まとめ				
	15	科目試験				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	IT戦略とマネジメント		インフォテック・サーブ		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	ITパスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可			

科目名		時間数(90分)			
IT戦略とマネジメント		講義	演習	実習	合計
		30			30
科目概要	企業におけるIT戦略で重要となる「システム戦略」「経営戦略」「企業と法務」「プロジェクトマネジメント」「サービスマネジメント」について、講義を通して用語知識を習得する。				
学習到達目標	企業の様々なプロジェクトに対し、IT化を推進する人材としてアドバイスできる基礎知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	企業活動1	16	ビジネスインダストリ1	
	2	企業活動2	17	ビジネスインダストリ2	
	3	企業活動3	18	ビジネスインダストリ3	
	4	企業会計1	19	プロジェクトマネジメントの概要	
	5	企業会計2	20	プロジェクトマネジメントのプロセス1	
	6	経営科学1	21	プロジェクトマネジメントのプロセス2	
	7	経営科学2	22	プロジェクトマネジメントのプロセス3	
	8	経営科学3	23	サービスマネジメントの概要	
	9	経営科学4	24	サービスマネジメントの手法1	
	10	法務と標準化1	25	サービスマネジメントの手法2	
	11	法務と標準化2	26	システム監査1	
	12	法務と標準化3	27	システム監査2	
	13	経営戦略マネジメント1	28	内部統制	
	14	経営戦略マネジメント	29	まとめ	
	15	技術戦略マネジメント	30	科目試験	
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	IT戦略とマネジメント	インフォテック・サーブ		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	ITパスポート試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
アルゴリズム(疑似言語実践)		講義	演習	実習	合計
			45		45
科目概要	基本となるアルゴリズムについて、講義と演習問題を通してフローチャート及び疑似言語を用いて表現できる知識を習得する。				
学習到達目標	プログラミングの基本となるアルゴリズムを理解し、様々な問題解決ができる知識と能力を身に付けるとともに、情報処理技術者試験「基本情報技術者試験」のアルゴリズム問題が解けるようになる。				
講義計画	回	内容		回	内容
	1	アルゴリズムとは		24	基本交換法
	2	流れ図とは		25	ヒープソート
	3	基本制御構造		26	基本交換法
	4	変数と定数		27	シェーカーソート
	5	カウンタ		28	基本挿入法
	6	疑似言語とは		29	シェルソート
	7	分岐処理①		30	クイックソート
	8	分岐処理②		31	マージソート
	9	繰返処理①		32	ボイヤムーア法
	10	繰返処理②		33	リスト
	11	疑似言語と流れ図の変換①		34	単方向リスト
	12	疑似言語と流れ図の変換②		35	双方向リスト
	13	関数とは①		36	スタック/キュー
	14	関数とは②		37	ハッシュ表
	15	集計		38	木構造
	16	複合条件		39	二分探索木/ヒープ木
	17	一次元配列①		40	基本情報技術者試験 科目B対策
	18	一次元配列②		41	
	19	二次元配列①		42	
	20	二次元配列②		43	
	21	線形探索法		44	
	22	二分探索法		45	
	23	基本選択法			
24					
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	疑似言語で学ぶアルゴリズム	株式会社インフォテック・サーブ		
	副教材	基本情報技術者試験 過去問題	IPA 独立法人情報処理推進機構		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験で評価		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-109

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
ネットワークとセキュリティ		15			15
科目概要	ネットワーク及び情報セキュリティの概念と技術に関する知識を、講義を通して習得する。				
学習到達目標	ネットワーク分野とセキュリティ分野において、その概念を理解するのに必要な用語知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	インターネット	16		
	2	ネットワークアーキテクチャ	17		
	3	TCP/IP	18		
	4	LAN	19		
	5	その他の LAN 技術	20		
	6	ネットワークの構成要素	21		
	7	ネットワークの基礎技術	22		
	8	ネットワーク運用管理	23		
	9	情報セキュリティの概念	24		
	10	情報セキュリティ技術	25		
	11	情報セキュリティ管理	26		
	12	情報セキュリティ機関・評価基準	27		
	13	情報セキュリティ対策	28		
	14	まとめ	29		
	15	科目試験	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ITワールド	インフォテック・サーブ		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	IT パスポート試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス-113

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
AIの活用と開発手法		15			15
科目概要	AIの歴史や発展の過程および最新の活用事例を確認しながら、AIの仕組みや開発手法について学習する。				
学習到達目標	機械学習の手法や実装方法といったAIの技術要素を理解するとともに、AIが産業に与える影響や問題点についても考察を行い、AIを使ったコンピュータシステムを構築するうえで必要となる基礎を身に着ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
		1 AIの歴史			
		2 AIの概略と種類(1)			
		3 AIの概略と種類(2)			
		4 AIにできること			
		5 機会学習(1)			
		6 機会学習(2)			
		7 ニューラルネットワーク			
		8 ディープラーニング(深層学習)			
		9 AIの実例(1)			
		10 AIの実例(2)			
		11 AIの実例(3)			
		12 AIの実装手段			
		13 AIの発達と影響を受ける産業			
		14 AIの将来			
		15 科目試験			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	AIの活用と開発手法(学習ノート)	電子開発学園		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	科目試験		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目番号：人力-103

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
ヒューマンスキル基礎			15		15
科目概要	社会人基礎力の3つの力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」について、ストーリーベースドラーニング(SBL: Story Based Learning)方式でグループ討議を中心にした演習を通して社会人としての素養を習得する。				
学習到達目標	経済産業省が提唱する社会人基礎力「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」をグループ演習で習得し、社会人としての振る舞いやチームワークを意識した行動を実践する力を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	オリエンテーション、グループ作り			
	2	クラスのルール			
	3	森さんからの相談事			
	4	広報スタッフの仕事			
	5	広報スタッフの段取り改善			
	6	スポーツフェスティバルの実行委員			
	7	森さんとリアル充実			
	8	突然の雨			
	9	社内でのマナー			
	10	川田さんと子猫1			
	11	川田さんと子猫2			
	12	学園祭の準備1			
	13	学園祭の準備2			
	14	まとめ			
	15	発表			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ヒューマンスキル～キャリアデザインワークショップⅡ～	電子開発学園		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	演習評価 別途定める評価シートに基づく		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

【評価基準（サンプル）】

評価項目	評価ポイント	配点
姿勢	人の意見を遮らずに聞いていたか	25
	自分と異なる意見でも尊重できていたか	
	発言していない人に発言を促す、大きな声で話すなど周囲の状況に気を配っていたか	
理解力	議論の流れに沿った発言ができていたか	25
	最終的な目標を理解した上で議論を展開できていたか	
	テーマに対する鋭い分析ができていたか	
主張力	根拠に基づき主張を展開できていたか	25
	簡潔にわかりやすい主張ができていたか	
	自分ならではのユニークな主張ができていたか	
統率力	問題を的確に理解し、議論を適切に進行できていたか	25
	横道にそれた議論を軌道修正できていたか	
	時間内に結論を出すべく進行できていたか	
	計	100

科目番号：大学-101

科目名		時間数(90分)				
特別講座1		講義	演習	実習	合計	
		120			120	
科目概要	情報処理技術者試験に合格させるべく対策授業を行う					
学習到達目標	学生が国家試験に対する知識を取得し、その後、資格を取得することを目標とします。					
講義計画	回	内容		回	内容	
	1 ～ 60	基本情報技術者 午前問題				
	61 ～ 120	基本情報技術者 午後問題				
使用教材	書籍名			出版社		
	主教材	基本情報技術者 午前問題集		インフォテックサーブ		
		基本情報技術者 午後問題集		インフォテックサーブ		
実習環境						
目標資格	資格名			実施団体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成績評価方法	科目試験		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可			

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
高度情報ネットワーク		10	5		15
3 科目概要	<p>ネットワークに関する基礎技術と最新技術を体系的に学習する。                      情報処理安全確保支援士(レベル4) 午前Ⅱ問題の範囲「3-10 ネットワーク」を学習させることで、ネットワークの高度なセキュリティ対策ができるようにする。                      情報処理安全確保支援士試験の午前Ⅱ問題が解けるようにする。</p>				
学習到達目標	<p>情報システムやネットワークは欠くことのできない基盤技術で通信の仕組み及び制御方法を修得し、新技術を理解する基礎力を高める。                      インターネットに必要なネットワークアーキテクチャやプロトコルの知識を他高めることでインターネットセキュリティを理解する基礎力を高める。                      ネットワークの管理方法を修得することで障害の早期対応および効率的な運用ができるようにする。                      モバイルネットワークおよび IOT を対象とした通信規格や最新技術を修得し、多様なネットワークに対応できる知識を身に付ける。</p>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	プロトコルの全体像	16		
	2	データリンク層	17		
	3	ネットワーク層(1)	18		
	4	ネットワーク層(2)	19		
	5	トランスポート層とアプリケーション層	20		
	6	回線	21		
	7	接続機器	22		
	8	仮想化技術	23		
	9	WAN 構築とセキュリティ	24		
	10	ネットワーク品質とサービス	25		
	11	DHCP と DNS	26		
	12	Web サーバ	27		
	13	メールサーバと FTP サーバ	28		
	14	SNMP とプロキシ	29		
	15	その他のサーバ技術	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	ALL IN ONE パーフェクトマスター ネットワークスペシャリスト	TAC 出版		
	副教材	高度情報ネットワーク 補助資料	(自作資料)		
実習環境	なし				
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
成績評価方法	ペーパー試験		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
高度情報セキュリティ実装技術		講義	演習	実習	合計
		15			15
科目概要	システム開発・運用におけるセキュリティ対策や実装技術、セキュリティ対策後の効果について学習する。 国家試験 情報処理安全確保支援士(レベル4)の午前II問題の範囲「3-11 セキュリティ5. セキュリティ実装技術」を網羅する。 情報処理安全確保支援士の午前II問題が解けるようにする。				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>データ通信におけるなりすまし、盗聴、不正接続等について理解し、それを防ぐためのセキュアプロトコルと認証技術を習得することで状況に応じた実装技術を高める。</li> <li>ネットワーク、データベース、アプリケーションのセキュリティ対策と仕組みを理解し、セキュリティの実装に役立てる。</li> <li>IoT機器の設計・開発について策定された各種の指針・ガイドラインを理解するとともにIoTに関する規格を理解することで実装に活かす。</li> <li>システム開発・運用におけるセキュリティ対策やセキュアOSの仕組みと実装技術、対策後の効果を修得し、セキュリティの応用技術を高める。</li> </ul>				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	アプリケーションセキュリティ(1)	16		
	2	アプリケーションセキュリティ(2)	17		
	3	ネットワークセキュリティ(1)	18		
	4	ネットワークセキュリティ(2)	19		
	5	データベースセキュリティ	20		
	6	セキュアプロトコル(1)	21		
	7	セキュアプロトコル(2)	22		
	8	セキュアOS	23		
	9	認証プロトコル(1)	24		
	10	認証プロトコル(2)	25		
	11	マルウェア解析(1)	26		
	12	マルウェア解析(2)	27		
	13	IoTの開発指針	28		
	14	IoTセキュリティ設計(1) [分析、設計]	29		
	15	IoTセキュリティ設計(2) [設計、保守、運用]	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	セキュリティ応用	電子開発学園		
	副教材	高度情報セキュリティ実装技術	自作教材		
	副教材	ウェブサイトにおける脆弱性検査手法	IPA 出版		
	副教材	つながる世界の開発指針(第2版)	IPA 出版		
	副教材	IoTセキュリティガイドライン ver 1.0	IoT推進コンソーシアム総務省		
	副教材	IoT開発におけるセキュリティ設計の手引き	IPA 出版		
	副教材	ウェブサイトにおける脆弱性検査手法	IPA 出版		
	副教材	脆弱性対策コンテンツリファレンス	IPA 出版		
実習環境	なし				
目標資格	資格名		実施団体		
	情報処理安全確保支援士試験		独立行政法人 情報処理推進機構		
成績評価方法	ペーパー試験		<評価基準> 100~90点：秀 89~80点：優 79~70点：良 69~60点：可 59点以下：不可		



科目番号：大学-111

科目名		時間数(90分)			
		講義	演習	実習	合計
HTMLとCSS		1		29	30
科目概要	ホームページ作成やWebアプリケーション開発で必要となる「HTML」「CSS」「JavaScript」について、実習課題を通して基本文法から活用法までを習得する。				
学習到達目標	Webサイトデザインの基礎とサーバーサイドで使用されている JavaScript を取得し、ショッピングサイト等を構築する基礎知識を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Webサイトの仕組み	19	CSSとは	
	2	Webページの技術	20		
	3	HTMLファイルの基本	21	様々なプロパティ	
	4	コンテンツ・モデル	22		
	5	テキストの表示	23	CSS3でWebページをレイアウト	
	6	画像の表示	24		
	7	音楽や映像を表示する	25	JavaScriptとは	
	8	図形の表示	26		
	9	リスト	27	関数とJavaScriptのオブジェクト	
	10		28		
	11	テーブル	29	JavaScriptの応用	
	12		30		
	13	フォームとは			
	14				
	15	フォームを記述する			
	16				
	17	Webサーバで入力を確認する			
	18				
	使用教材	書籍名		出版社	
主教材		配布プリント			
実習環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webブラウザ</li> <li>・TeraPad</li> </ul>				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	課題提出		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
My SQL基礎		講義	演習	実習	合計
		4	26		30
科目概要	データベース操作言語（SQL）とデータの正規化について、演習を中心とした授業を通して実践的に学習する科目である。				
学習到達目標	実践的なデータベース操作言語（SQL）とデータの正規化を理解し、企業等でデータベーススペシャリストとして活躍するための基礎力を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	SELECT文の基本	16 17	追加・更新・削除	
	2	集合関数	18 19	テーブル&ビューの作成	
	3 4	WHERE句	20 ～ 24	データベース設計	
	5 6	GROUP BY句 HAVING句	25 ～ 29	データ正規化演習	
	7	CASE式	30	科目試験	
	8	ORDER BY句			
	9	DISTINCTキーワード			
	10	副問い合わせ			
	11	ASキーワード			
	12	JOIN句			
	13	OUTER JOIN句			
	14	EXISTS句			
	15	UNION演算子			
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	3ステップでしっかり学ぶ MySQL 入門 [改訂2版]	技術評論社		
実習環境					
目標資格	資格名		実施団体		
	基本情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	応用情報技術者試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	データベーススペシャリスト試験		IPA 独立法人情報処理推進機構		
	ORACLE MASTER Bronze SQL 基礎		オラクル		
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>科目試験（80%）</li> <li>演習評価（20%）</li> </ul>		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目名		時間数(90分)			
プログラミング基礎		講義	演習	実習	合計
		0	0	15	15
科目概要	企業のAI開発においてニーズが高いPythonについて、講義・実習を通して基本文法から基本的なアルゴリズムのプログラミングまでを習得する。 なお、本科目は、IT企業のシステム開発でプログラミングに携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。				
学習到達目標	Pythonの基本文法や標準ライブラリを使用して、基礎的なアルゴリズムのプログラミングができる技術を身に付ける。				
講義計画	回	内容	回	内容	
	1	Pythonの実行環境 Hello World	16		
	2	変数/文字列/算術演算子/比較演算子	17		
	3	if文 分岐/多分岐	18		
	4	for文	19		
	5	While文	20		
	6	リストの操作	21		
	7	辞書	22		
	8	関数	23		
	9	基本的な文字列操作	24		
	10	正規表現/メタ文字/パターンマッチ	25		
	11	ファイルの読み込み/書き出し	26		
	12	クラスとは	27		
	13	プログラミング実習	28		
	14	プログラミング実習	29		
	15	プログラミング実習	30		
使用教材	書籍名		出版社		
	主教材	Pythonの絵本	翔泳社		
実習環境	・Pythonパッケージ (3.11.3) ・テキストエディタ (Visual Studio Code)				
目標資格	資格名		実施団体		
成績評価方法	実習課題		<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		